

小高敏郎 （こたかのみちろう） 國文學者。大正十一年二月、神奈川県横濱市生れ。

昭和四十一年七月、二十七回（三三―三六）。第一高等学校文科内類を

經て、昭和二十三年東京大學文學部國語國文學科卒。出版社養徳社編

編輯勤務も、二十五年退社し、學務員院講師、うち學務員院大學教授。『松

永貞徳の研究』（昭和二十八年刊）、『松永貞徳の研究續篇』（昭和

三十一年刊）および『又部入臣賞、第一回東京大學國語國文學會賞を受

く。他に、『近世初期文壇の研究』（昭和二十九年刊）等。

遺文を含む『小高敏郎君追悼録』（昭和四十一年七月、二十七日、神奈川県

・小高敏郎君追悼録刊行会）がある。



小高敏郎君追悼録

